

銭位立山航空切手

1951年(昭和26)12月1日、航空料金が改定(下表)されました。これに伴い、翌1952年(昭和27)2月11日、立山連峰上を飛行するDC-4型機を描く立山航空切手6種(銭単位)が発行されました。各額面は基本料金と航空割増料金を合わせた料金に対応しています。

地帯	宛先地域	封書・はがき 10gまで	印刷物 20gまで
第1地帯	東アジア	40円	25円
第2地帯	南洋	55円	30円
第3地帯	北米、南アジア	80円	40円
第4地帯	欧州、豪州、中東	125円	75円
第5地帯	アフリカ、南米	160円	85円

(1951. 12. 1~1953. 6. 30)



銭位立山航空切手



東京(中央) 31. 7. (8)



OSAKAHIGASHI 12. 12. 52
JAPAN



銚子 29. 1. 1-



東京中央/日活ビル内
-7. 4. 25



アキタ小坂 30. 3. 10



TOKYO 30. V. 52



仙台 28. -. 8



SHIBA 24. 3. 5 JAPAN



(TOKYO) (4. 7. 52)



下谷 (3) 7. 9. 4

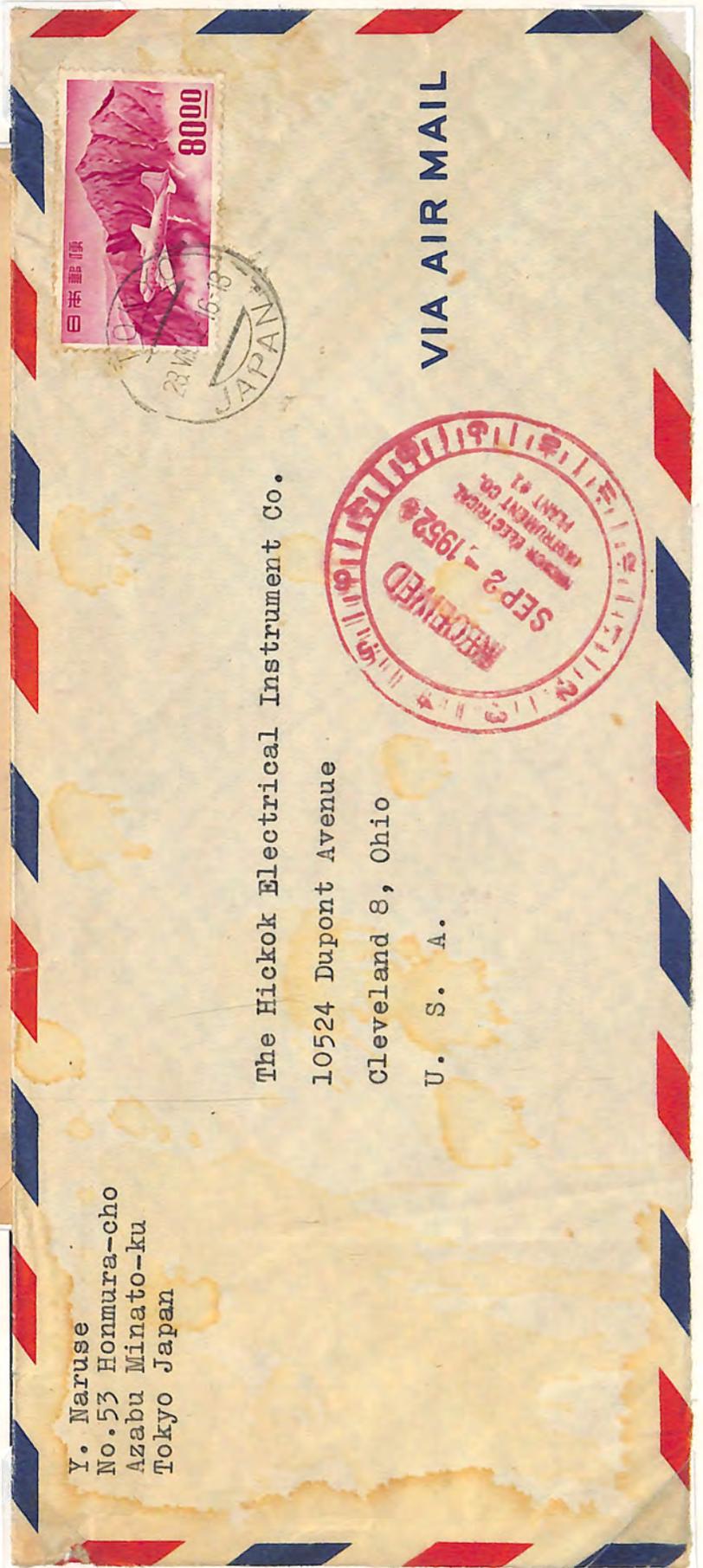
銭位立山航空 75 円



イギリス(第4地帯)宛て航空便書状 20g まで 125 円
銭位立山航空 75 円円、銭位五重塔航空 30 円、円位五重塔航空 20 円、計 125 円貼
TOKYO 5. IV. 53 16-18 JAPAN

銭位立山航空 80円

第3地帯宛用



米国(第3地帯)宛航空便書状

20g まで80円

麹町内幸町 27. 2. 16 前 8-12

米国(第3地帯)宛航空便書状

20g まで80円

TOKYO 28. VIII. 52 16-18 JAPAN

銭位立山航空125円

第4地帯宛用



スイス国(第4地帯)宛航空便書状
20gまで125円
YOKOHAMA 28. 3. 52 JAPAN
(紫色欧文櫛型ゴム印)

円位立山航空切手

1952年(昭和27)4月1日以降に発行される切手の料額は、銭単位から円単位で表示されることになりました。これを受けて、円位立山航空切手6種が同図案、同色で発行されました。航空郵便の料金には変更がありません。

地帯	宛先地域	封書・はがき 10gまで	印刷物 20gまで
第1地帯	東アジア	40円	25円
第2地帯	南洋	55円	30円
第3地帯	北米、南アジア	80円	40円
第4地帯	欧州、豪州、中東	125円	75円
第5地帯	アフリカ、南米	160円	85円

(1951. 12. 1～1953. 6. 30)



円位立山航空切手



大宮 29. 3. 3



福島万世町/福島
29. 7. 5



静岡三島駅前 30



伊77花巻温泉 31. 9. 7



-AWA -. IV. 1955



垂水 28



ヒョウゴ赤穂 31



KUDAN/TOKYO
24. 1. 55



朝日生命館内/東京
28. 5. 19



-AHAMA -. 7. 52



TOKYO 31. III. 53



釧路北大通六



大阪中央 32. 10. 23

円位立山航空 125 円

第4 地帯宛用



スイス(第4地帯)宛て航空便書状 20g まで125円
TOKYO 8. V. 53 16-18 JAPAN



TOKYO 23. III. 53



TOKYO 27. I. 53

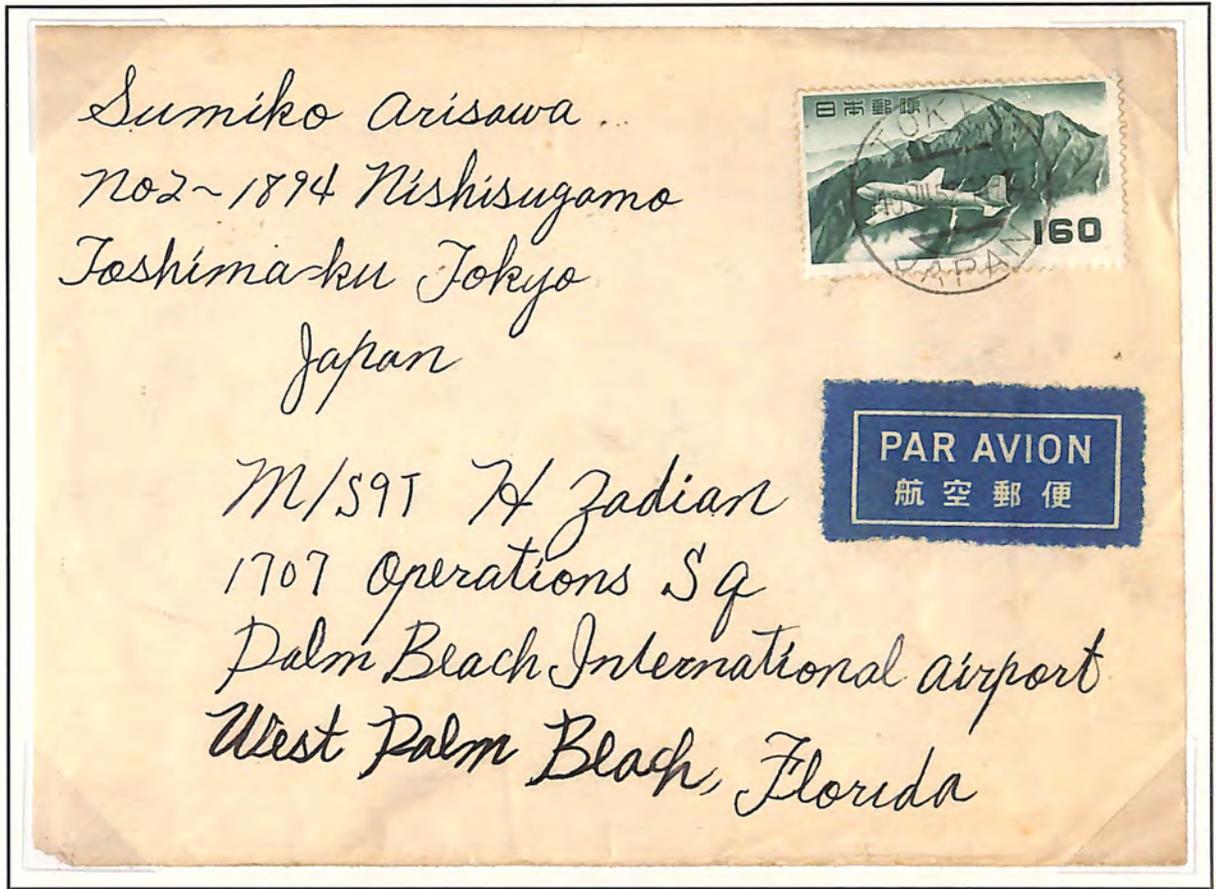


麹町内幸町/東京 28.3.3



松阪 29

円位立山航空 160 円



米国(第3地帯)宛て重量航空便書状 40g まで160 円
 TOKYO 10. VIII. 52 14-16 JAPAN



IMPERIAL HOTEL P.O.
 -2. 11. 52



TOKYO 5. XII. 52 18-20



藪町内幸町/東京 27. 12 5



蕪崎 33